

第12回

自宅での介護が今より“2倍楽”になる方法
住環境・福祉用具についてプロが伝授！

-目次-

- 1、福祉用具とは？
- 2、福祉用具とはどんなもの？
- 3、福祉用具の利用方法とそれぞれ
メリット・デメリットを整理
- 4、福祉用具を利用するには？
- 5、住環境の整備

1、福祉用具とは？

福祉用具とは電動ベッドや車いす、杖など、介護や介助が必要な方の日常生活やリハビリ・機能訓練をサポートするための用具や機器のことです。

福祉用具は購入もしくはレンタルで利用しますが、これにかかる費用は介護保険が利用できる場合と利用できない場合があります。



2、福祉用具とはどんなもの？

福祉用具には、レンタルできるものと購入できるものがあり、介護保険の利用ができます。

レンタル → 介護保険制度を利用してレンタルできる用具は13種類

- | | |
|--------------|---------|
| ①車イス | ⑩歩行器 |
| ②車イス付属品 | ⑪歩行補助つえ |
| ③特殊寝台（ベッド） | ⑫手すり |
| ④特殊寝台付属品 | ⑬スロープ |
| ⑤体位変換器 | |
| ⑥床ずれ防止用具 | |
| ⑦認知症老人徘徊感知機器 | |
| ⑧自動排せつ処理装置 | |
| ⑨移動用リフト | |

※①～⑨は要介護2～5が対象

2、福祉用具とはどんなもの？

購入 → 介護保険制度を利用して購入できる特定福祉用具は5種類

①腰掛便座（ポータブルトイレなど）

②自動排せつ処理装置の交換可能部品

③入浴補助用具

（入浴台、入浴用いす、浴槽内いす、浴槽用手すり、
浴室内すのこ、浴槽内すのこ、入浴用介助ベルト）

④簡易浴槽

⑤移動用リフトのつり具部分



**※4月1日～翌年3月31日までの1年間で税込100,000円と
上限が設定されている。**

3、福祉用具の利用方法とそれぞれ メリット・デメリットを整理

レンタル

メリット → ①利用期間にもよりますが、福祉用具にかかる費用を抑えられる点。
②利用者の状態に合わせて、その都度福祉用具を変更することも可能。
③福祉用具のメンテナンスと、不要になった際に返却するだけなので、処分の手間も省かれる。

デメリット → 傷や汚れに充分気をつけなければならないこと。
所有しているものではないため、事業者の規約に従い大切に使用する。

3、福祉用具の利用方法とそれぞれ メリット・デメリットを整理

購入

メリット → 傷や汚れを気にせず気兼ねなく使用できる点です。
利用者の好みのデザインやメーカー、新しいものを使用
できるメリットもあります。

デメリット → 購入してしまうと、状態が変化し**福祉用具の変更**が必要
になった際に、対応が**難しく**なります。
また、車いすやベッドなど大型の福祉用具の場合は**処分**
も大変です。
レンタル対象の福祉用具は購入時には介護保険の対象に
はならないため、**全額自己負担**となり、初期費用も高く
なります。**メンテナンス**の依頼などもご自身で行わなけ
ればならないため、手間も掛かります。

4、福祉用具を利用するには？

福祉用具をレンタルするまでの流れ

- ①利用者は市役所や地域包括支援センターに相談する
- ②ケアマネジャーはケアプランを作成して福祉用具貸与事業者を選ぶ
- ③福祉用具専門相談員が利用者を訪問し、利用者や家族の希望の聞き取り、生活動作能力の確認、医療や環境、家族情報の確認を行う
- ④福祉用具専門相談員は、価格や機能が違う複数の用具を提案し、福祉用具サービス計画の作成を行う
- ⑤サービス内容に同意が得られたら福祉用具を決定し、事業者が用具を納品する
- ⑥利用者に適切であるかどうか確認する
- ⑦利用者と福祉用具貸与事業者の間で契約を締結する
- ⑧レンタル開始

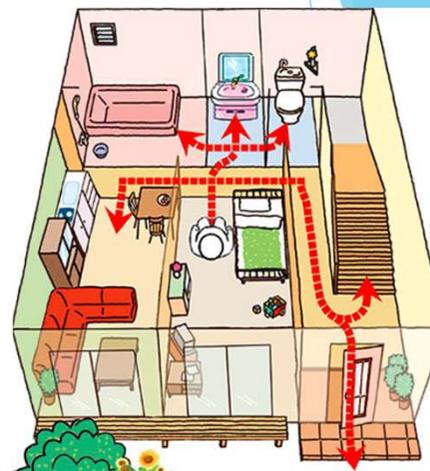
5、住環境の整備

生活動線上の住環境整備

①家の中を考える

普段、何気なく暮らしている家の中には、「玄関への出入り」、「廊下を歩く」、「階段の昇り降り」、「トイレや浴室に行ったり」、「居間で座ったり立ったり」、「寝室で就寝」するなど、思った以上に家の中での移動が多いことが分かります。しかし、加齢に伴い身体が衰えてきたり、動作がスムーズにできなくなった場合、移動が困難になってくると思います。

「生活動線上の住環境整備」では安全にそして安心した生活を送れるよう住環境の整備を考える必要がある。



5、住環境の整備

生活動線上の住環境整備

②高齢者の事故発生場所

高齢者の事故はなんと！**約8割弱が家庭内**で起こっています。

統計では高齢者事故の**約8割が「転ぶ」**ことによる事故だったそうです。

しかも**居室や寝室**で一番多く事故が起こっています。

「ころばない」ように注意しなければいけません。

では、なぜ転んでしまうのか？

歩行や段差を乗越える場合、片足立ちとなり**バランスを崩し**、

ころび（転倒）やすくなります。

そこで手すりや杖などの福祉用具を使用しころび（転倒）

リスクを減らすことができます。



5、住環境の整備

生活動線上の住環境整備

玄関



手すりの取付



ステップ台



あがりかまち用たちあつぶ

廊下/階段



①縦手すりが有るためトイレへの出入りが楽に行える



②階段/オーダー手すり

居室/寝室



①たちあつぶステンレス仕様
CKA-13



②たちあつぶ CKA-04



たちあつぶを連結し動線を確保

5、住環境の整備

生活動線上の住環境整備

屋外



⑥屋外てすり オーダー



②たちあつぷ540 規格品
段差54cmまで対応

浴室



トイレ



すぐにできる住環境の整備

室内誘導灯の設置

夜のおトイレ時に、誘導灯を設置すれば、転倒のリスクが解消されます。最近では100円均一ショップにも、センサーライトが売っているので、お試しするのもよろしいかと思います。

滑りにくい靴下

靴下の足裏部分に滑りにくい加工がしており、床をしっかりとらえるため力が入りやすくなります。また、摩擦が強まりグリップ力が増します。最近では、100円均一ショップにも「滑り止め液」が売っており、自前の靴下に滑り止め液を加工できる商品もあります。

かかとがあるルームシューズ

スリッパが脱げそうになってバランスを崩したり、足がもつれて転倒するケースもあるので、しっかりかかとがあって、滑り止めがされているルームシューズがおすすめです。



株式会社ふれあい広場

* TMGの福祉と介護 *

■ 会社概要

社名：株式会社ふれあい広場
設立：平成4年6月
本社：埼玉県戸田市本町1-21-2(2F)
電話：048-441-0322
FAX：048-441-0761
事業内容：居宅介護支援
福祉用具レンタル・販売
住宅改修・在宅酸素事業
訪問介護・訪問入浴
グループホーム(認知症対応)
小規模多機能型ホーム



Toda Medicalcare Group
戸田中央メディカルケアグループ

(株)ふれあい広場 戸田店

戸田市本町1-21-2 ☎048-497-5176

福祉用具レンタル・福祉用具販売・ケアプラン